

港区立港南小学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

| | |
|----|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」は、内容を理解しながら聞くことに課題がある。 ・「読むこと」については、思考力・判断力を問われる「活用」の項目に課題がある。 ・「書くこと」は、無回答の児童がいること、問いに対して指定された題意や時数と異なる形で書いてしまう児童が多かった。 ・前年度に学習した配当漢字は、読む方はできているが書くことに課題がある。定着している児童とそうでない児童の二極化が見られた。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の地図記号や方位磁針の読み取りに大きな課題が見られる。地図記号の知識としての定着や方位磁針の向きの変化に対応することができていない児童がいる。 ・全体的に活用や応用的な問いに対する回答が低い。また、複数の資料から情報を読み取ったり、複数の資料を関連付けて把握したりすることに課題が見られる。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年4年「データの活用」領域において、目標値を下回っている問題があった。表やグラフから人数の違いを読み取ったり、表の値を棒グラフに表したりすることに課題がある。 ・6年「変化と関係」領域において、百分率を適用して問題を解決することに課題がある。 ・5年「図形」領域において、条件をもとに作図をすることに課題がある。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・4年6年は、「A 物質・エネルギー」領域、5年は、「B 生命・地球領域」に課題が多い傾向にある。 ・4年6年は、実験器具の使い方に課題が見られる。 ・3学年ともに基礎的な知識・技能の正答率が低い傾向が見られる。 ・思考・判断の正答率は、高めである。 ・複数の条件で、実験がある単元は、問題と結果の混同が見られる。 |

2 各教科の具体的な授業改善

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールを用いることや対話型のスピーチ等を行うことで、自分の考えを的確に表現できるようにしていく。書く活動や伝え合う活動を繰り返し行い、充実を図る。 ・授業の中で語彙を増やす、辞典を活用する、漢字を定着させる等、基礎・基本を大切にしていく。全学年で詩の朗読や俳句や短歌に取り組み、言語感覚を養うとともに、言葉を尊重する態度を養う。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|--|
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲向上を目指し、資料の提示や疑似体験などを有効に利用する。 ・地図に関する知識・技能が低いので、ワークテストに取り組みせたり、比較させたりしながら、学習を展開していく。 ・資料を分析したり、他者と自分の考えの相違に気付かせたりするなど応用力を高める指導を行う。 |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p> | |
|--|--|--|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|
| 算数 | <p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象について数理的に捉え見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> | <p>・図形の性質や用語の理解を図る学習では、具体物・半具体物を活用し、視覚的な理解を促す。また、ICT 機器を用いて、身の周りに同じ図形がないか探し、写真に撮影したものを紹介し合うなどの活動を設定し、日常生活との結びつきで理解を深める。</p> <p>・「別の数でも同じことが言えるだろうか。」「前にも似たような計算の仕方はなかっただろうか。」と問うことで、発展的・統合的な考え方を児童に身に着けていく。テープ図や数直線、線分図など学年に応じて適切な図の使い方を指導し、活用できるように学級に掲示をする。</p> <p>・単元の終末に学習したことを活用して解く問題を入れるなど、単元で学習した見方・考え方を活用させる。また、毎時間学習感想を書かせることで、身に付いた考え方を振り返り、次時に活用しようとする意欲を高めていく。</p> |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|
| 理科 | <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p> | <p>・観察、実験などの技能を高めるために、実験に使う用具の使い方を丁寧に指導し、高学年では実験器具に触れる機会を増やし、実験方法を児童が立案するような授業を行う。</p> <p>・単元の終わりに、全ての実験結果を振り返る時間をとり、どのような条件で実験を行ったとき、結果がどうなったのかを整理する。</p> <p>・実体験が難しい教科では、ICT を効果的に活用して、児童の理解を深める。</p> |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 生活 | <p>(1) 活動や体験の家庭において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 身近な人々、社会及び自然を</p> | <p>・身近な自然(生き物や植物)に積極的に関わる機会を増やし、児童自らも育てたり飼育したりする経験をもつ。</p> <p>・個人の活動を十分に満たした上で、友達との関わりを取り入れていき、「もっと○○したい」という意欲を高める。</p> <p>・児童が工夫を重ねられるような学習内容を選択し、話し合いや発表など友達との関わりの中で活動が進んでいくようにする。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。</p> <p>(3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間の活動の流れを明確にして児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・環境や場の設定を吟味し、物的材料、人的材料を豊かにしていく。 ・国語や図工等の教科と関連させて学習内容を選択していく。 |
|--|--|--|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 音楽 | <p>(1)曲想と音楽の構造などとの関りについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱への意欲は高いが、地声で歌う児童が見られるため「歌う声」を意識して指導することが必要である。 ・音楽的な語彙を音楽室に掲示することで、その語彙を手掛かりに楽曲を聴いたり感じ取ったことを表現したりすることができるようにする。 ・音楽をどのように表現するかについて思いや意図をもつことができる学習を工夫する。 ・楽器の演奏技能や読譜の学習ではスモールステップの学習を設定し技能の定着を図る。 ・ペア、グループ学習を通して友達と関わりながら音楽をつくり表現したりする活動を取り入れる。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 図工 | <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくり表したりすることができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを視覚化し見通しをもたせ、振り返りを重点的に行うことで児童一人ひとりの学習状況を見とり、個に応じた指導・支援を行う。 ・参考作品を提示したり活動中に児童の作品を見合う場を設定したりすることで、豊かな発想を促す。 ・鑑賞では、自分の見方や感じ方を深めるために、作品のよさや特徴を捉え、ワークシートを工夫したり友達との表現意図を伝え合う対話的な活動を取り入れたりとしていく。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 家庭 | <p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にしている心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の営みに関わる見方考え方」を働かせるために、成果や改善点、自分の家庭ではどのような実践ができるのか等の視点で、授業ごとの振り返りを必ずさせる。 ・調理の学習では、個々の実践力を高めるために一人調理やペア調理の機会を増やし、経験できることの多い実習にする。 ・安全面に注意が必要な学習(ミシン・裁縫等)では、必ずペアで教えあい学習をさせ、個人の作品製作だけを目標とするのではなく、安全に実習が進むことを意識させる。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|
| 体育 | <p>(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性を味わわせるために、運動の行い方を工夫したり、規則を工夫したりする。各種の運動に合わせた実技研修を行うことで、指導法の改善を図る。 ・学習資料を共有・活用し、めあてに対する振り返りを重点的に行うことで、毎時間の指導改善と児童の学習改善を図っていく。 ・運動に意欲的でない児童や運動が苦手な児童には、個別に声を掛けたり、配慮したりすることで、運動に進んでとりくむことができるようにする。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|
| 国際 | <p>(1) 英語による「聞く・話す」活動を中心に、人とのかかわりに必要な自己表現力や国際社会に貢献するために必要なコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>(2) 我が国と異なる文化的背景をもつ人々との交流活動を通じて、世界の多様な文化を学び、地球規模で共生することの意義を考え、実践することができる態度をはぐくむ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・NT (Native Teacher) と専科教員の Small Talk や Demonstration を多く取り入れ、英語を聞くことに慣れる。写真やイラスト、実物を用いることで分からない内容でも予想しながら聞けるようにしていく。話す活動では、ペア学習を多く取り入れ、Target sentence を使ったやりとりを多く設定する。また、単元の終末では「スピーチ」を行い、自分の考えや思いを伝える場を設定する。その際、「大きな声」「はっきりとした声」「アイコンタクト」「ジェスチャー」「間の取り方」など相手を意識した発表を行えるよう、丁寧に指導していく。 ・言語活動で取り上げるテーマは、児童にとって身近で興味深いものにする。児童がすすんで「伝えたい、話したい、聞きたい」と思えるような目的・状況・場面を設定する。 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>(3)我が国と他国の文化を比較する活動を通して、日本の伝統的文化への一層の理解を深め、日本のよさを各国に情報発信することができる態度を養う。</p> | <p>・異文化を理解するために、各国の映像を大いに活用しながら日本との違いに気付かせていく。また、本校には4人のNTが在籍しているため、様々な言語活動にNTにも参加してもらいながら、NTとのかかわりを通して、児童が異文化について考えられるよう指導していく。</p> |
|--|---|--|

| | | |
|----|--|--|
| 道徳 | <p>育成を目指す資質・能力</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> |
| | <p>(1)よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p> | <p>・関心、意欲を向上させるため、導入部分で事前アンケートを活用したり、ICT 機器を活用して資料提示を行ったりするなどの工夫をする。 ・児童が自己の生き方について考えを深められるように発問の精選を行い、価値理解と同時に人間理解や他者理解も深めていけるようにする。 ・物事を多面的・多角的に考えさせるために、話し合い活動を取り入れていく。</p> |

| | | |
|------|---|--|
| 特別活動 | <p>育成を目指す資質・能力</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> |
| | <p>(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> | <p>・委員会活動では、コロナ禍でも行える活動を基に、児童と担当教員で検討しながら内容を検討している。動画や掲示物を活用した校内への呼び掛けや、校内放送を活用して音楽委員会が音楽の紹介と曲を流すなど、工夫して取り組んでいる。 ・クラブ活動では、調理実習や音楽の活動など、制限が掛かってしまうことが多いため、従来のように実施できなかったが、料理のレシピを考案して自宅で作ったり、打楽器の演奏や音楽の歴史を調べたりする活動を行うなど、教員と児童が活動の内容を検討しながら興味・関心を深める活動を行っている。 ・学級活動(1)や係・当番活動を通し、各学級が望ましい集団形成を行えるように取り組んでいる。また、キャリア・パスポートの作成など学級活動(3)を通して自己実現を達成できるように指導を工夫する。</p> |

| | | |
|-----------|---|--|
| 総合的な学習の時間 | <p>育成を目指す資質・能力</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> |
| | <p>(1)課題の解決に必要な知識・技能を発揮するとともに、地域の良さや特徴を見つめ直し、探究的な学習のよさに気付く。 (2)地域の実社会・実生活の問題から課題を見出し、その解決に向けて情報を集め、情報を整理したり分析したりすることで自分の考えをもち、理由を明確にしてまとめ、相手や目的に応じて、表現す</p> | <p>・児童の課題意識が連続発展できるような支援を重視する。 ・地域も含めた協働的な学習活動を重視する。 ・探究の学習過程(課題設定、情報収集、整理分析、まとめ表現)が繰り返されるような単元づくりを行う。 ・資質・能力面での教科との関連的な指導を行う。 ・学年間で学級の学習状況などを定期的に共有できるようにする。 ・OJTを行い、総合的な学習の時間の進め方について共通理解を図る。 ・単元で活用した資料や情報、指導案等は単元ごとにまとめて</p> |

| | |
|--|--|
| <p>る力を身に付ける。</p> <p>(3)主体的・協働的に学習に取り組むとともに、友達と互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために探究的に学習を進めることを通して、自己の生き方を考えたり、すすんで社会に参画しようしたりする態度を養う。</p> | <p>引き継ぐ。</p> <p>・専科教員やSSS(スクールサポートスタッフ)を活用するなど、校内の支援体制を確立する。</p> |
|--|--|